

事業評価に係るバックデータ

①一般国道115号（東北中央自動車道）相馬福島道路（霊山～福島）	・ ・ ・	1
②一般国道7号（日本海沿岸東北自動車道）遊佐象潟道路	・ ・ ・ ・ ・	7
③一般国道7号（日本海沿岸東北自動車道）朝日温海道路	・ ・ ・ ・	13
④一般国道103号 奥入瀬（青樫山）バイパス	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	19
⑤一般国道42号 新宮紀宝道路	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	25
⑥一般国道168号 五條新宮道路（風屋川津・宇宮原工区）	・ ・ ・ ・	31
⑦一般国道57号 滝室坂道路	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	37
⑧一般国道41号 名濃バイパス	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	43
⑨一般国道24号 寺田拡幅	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	49
⑩一般国道42号 湯浅御坊道路 4車線化	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	55

①一般国道115号（東北中央自動車道）
相馬福島道路（霊山～福島）

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道115号	相馬福島道路 (霊山～福島)	12.2km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
13,500	2	東北地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	498億円	104億円	602億円
基準年における 現在価値 (C)	380億円	30億円	410億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成35年度			
単年便益 (初年便益)	36億円	3.1億円	2.8億円	42億円
基準年における 現在価値 (B)	478億円	41億円	36億円	555億円

③ 結果

費用便益比 (事業全体)	1.4
経済的純現在価値 (事業全体)	145 億円
経済的内部収益率 (事業全体)	5.8%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	13,500	±10%	1.2~1.6
事業費	498億円	±10%	1.3~1.5
事業期間	10年	±2年	1.2~1.5

交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道115号 相馬福島道路(霊山～福島)

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] 霊山福島：12.2km	交通量	[台/日]	0	13,500	
	走行時間	[分]	0	9	
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	22.30	
②主な周辺道路※4	現道 国道115号 :14.1km	交通量	[台/日]	6,900	4,300
		走行時間	[分]	24	22
		走行時間費用	[億円/年]	29.67	16.60
	一般国道 349号 :6.6km	交通量	[台/日]	8,200	2,900
		走行時間	[分]	12	11
		走行時間費用	[億円/年]	30.36	18.28
	原町川俣線 :31.8km	交通量	[台/日]	2,700	2,100
		走行時間	[分]	48	48
		走行時間費用	[億円/年]	23.83	18.52
	浪江国見線 :17.5km	交通量	[台/日]	2,700	2,100
		走行時間	[分]	33	33
		走行時間費用	[億円/年]	16.93	12.66
一般国道 114号 :21.6km	交通量	[台/日]	9,600	9,100	
	走行時間	[分]	36	35	
	走行時間費用	[億円/年]	75.53	70.03	
③その他道路合計 :5251.7km		走行時間費用	[億円/年]	21,130.95	21,114.75
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計	: 5355.5km	走行時間短縮便益 [億円/年]	21,307.27	21,273.14	34.13

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

【図面(①、②に該当する道路)】



費用便益分析の条件

事業名：一般国道115号 相馬福島道路(霊山～福島)

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成24年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42年)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合 いずれかのみ推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
	無	<input checked="" type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	() 台トリップ/日
	無	<input checked="" type="checkbox"/>
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由 小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮 対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数.....	() %
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数.....	() 日
		とり止め交通を考慮する.....	<input type="checkbox"/>
冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 当該区間を管轄する東北建設事務所の除雪稼働日数より設定(H19-23年度平均)	(26) 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 走行旅行速度調査より道路種別に応じて冬期速度低下率を算出し、配分速度を補正	
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定 その他()	<input checked="" type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
その他			

②一般国道7号
（日本海沿岸東北自動車道）遊佐象潟道路

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道7号	遊佐象潟道路	L=17.9km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
11,600	2	東北地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	497億円	173億円	670億円
基準年における 現在価値 (C)	371億円	50億円	421億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成35年度			
単年便益 (初年便益)	49億円	17億円	4.5億円	70億円
基準年における 現在価値 (B)	685億円	241億円	56億円	982億円

③ 結果

費用便益比 (B/C)	2.3
経済的純現在価値 (B-C)	561億円
経済的內部収益率 (EIRR)	9.9%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	11,600台/日	±10%	2.1 ~ 2.6
事業費	497億円	±10%	2.1 ~ 2.6
事業期間	10年	±2年	2.2 ~ 2.5

交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道7号 遊佐象潟道路（全体）

（推計時点 H42年）

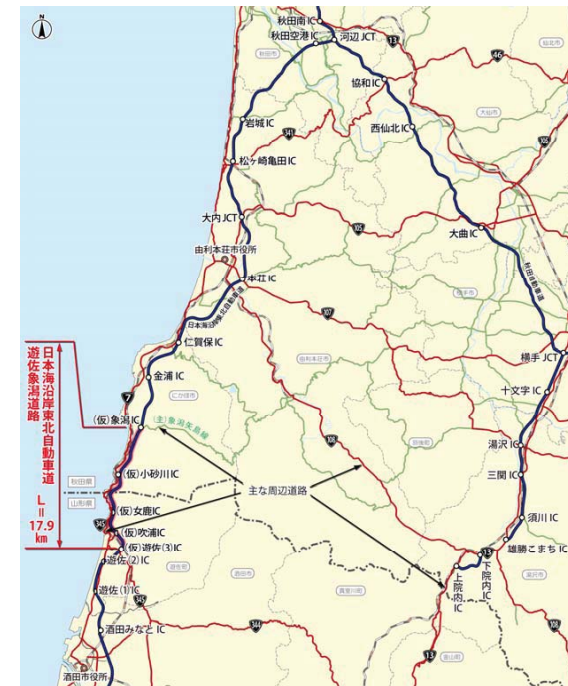
			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 : 17.9km	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	11,600	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	15	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	34.83	
②主な周辺道路 ^{※4}	並行現道 (国道7号) : 18.7km	交通量	[台/日]	9,900	800
		走行時間	[分]	29	22
		走行時間費用	[億円/年]	58.39	3.10
	(主)象潟 矢島線 : 3.0km	交通量	[台/日]	6,000	2,600
		走行時間	[分]	7	5
		走行時間費用	[億円/年]	8.82	2.19
	国道108号 : 19.3km	交通量	[台/日]	2,700	2,100
		走行時間	[分]	32	32
		走行時間費用	[億円/年]	16.83	12.24
	国道13号 : 18.1km	交通量	[台/日]	4,200	3,200
		走行時間	[分]	20	20
		走行時間費用	[億円/年]	17.75	13.24
国道345号 : 4.7km	交通量	[台/日]	1,400	1,100	
	走行時間	[分]	8	8	
	走行時間費用	[億円/年]	2.08	1.61	
③その他道路合計 : 8684.6km	走行時間費用	[億円/年]	21,167.34	21,157.68	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 8766.2km	走行時間短縮便益	[億円/年]	21,271.21	21,224.89	46.32

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：一般国道7号 遊佐象潟道路（全体）

【図面 ①、②に該当する道路】



費用便益分析の条件

事業名：一般国道7号 遊佐象潟道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成24年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (平成42年)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量推計結果については、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)内の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他()	<input type="checkbox"/>	

事業名：一般国道7号 遊佐象潟道路

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮 採用した休日係数	() %
災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数	()日
とり止め交通を考慮する		<input type="checkbox"/>	
冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 当該区間を管轄する本荘・酒田国道維持出張所の除雪機械稼働日数より設定 (H19~23平均)	(74)日
冬期の走行速度と交通容量の関係 走行速度調査より道路種別に応じて冬期旅行速度低下率を算出し配分速度を補正			
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定 その他 ()	<input checked="" type="checkbox"/>	
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
その他			

路線名	箇所名	車線数	延長
日本海沿岸 東北自動車道	一般国道7号 遊佐象潟道路	2	17.9km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考					
①工事費	改良費	改良費			41,060						
					21,833						
					土工	m3	4,200,658	9,582	切土(1,344,312m3)、盛土(2,856,346m3)		
					軟弱地盤改良工	m3	2,733,546	5,387			
					法面工	m	458,283	1,108	切土法面、盛土法面		
					擁壁工	式	1	100			
					管渠工	m	2,811	267			
					函渠工	m	1,544	1,190			
					排水工	m	16,523	1,883			
					中央分離帯工	m	17,175	673			
					雑工	式	1	1,643	跨道橋、付替え道路、機能補償道路等		
		橋梁費					8,688				
							100m以上	m	1,081	6,305	6橋
							100m未満	m	286	2,383	5橋
		トンネル費									
							NATM	m			
							シールド	m			
		IC・JCT費									
							IC	箇所	3	3,452	ハーフ(2)、フル(1)
							JCT	箇所			
		舗装費									
							車道舗装	m ²	233,213	3,732	
							歩道舗装	m ²			
付帯施設費											
					交通管理施設工	式	1	3,355	標識工、防護柵工、防雪柵工、道路情報板等		
					遮音壁	m					
②用地及補償費											
					用地費	m ²	933,821	2,926			
					宅地	m ²	8,369	209			
					田畑	m ²	345,038	1,653			
					山林・原野	m ²	580,414	1,064			
					その他	m ²					
					補償費	式	1	333			
③間接経費											
						式	1	7,681	地質調査、測量、設計にかかる費用等		
全体事業費					52,000						

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛り及び近接事業箇所の実績単価を使用する
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

便益の現在価値算定表

箇所名：一般国道7号 遊佐象潟道路(全体)

様式-5

年度 (昭和)	年度 (平成)	総定率(元/年別伸び率)	別利率		走行時間短縮便益(億円)		現在価値		走行経費減少便益(億円)		現在価値		事故減少便益(億円)		現在価値		便益合計 (①)~(⑤)	現在価値 (①)~(⑤)
			(A)	(B)	①社	②社	③社	④社	⑤社	⑥社	⑦社	⑧社	⑨社	⑩社				
43年度	H 84	0.99311	0.99356	0.98554	0.9851	2.74	2.53	40.64	45.91	4.37	1.53	0.80	1.326	1.48	2.61	0.25	64.11	6.10
42年度	H 83	0.98106	0.99073	0.98678	0.9869	2.79	2.55	40.60	45.94	4.54	1.56	0.81	1.325	1.54	2.68	0.26	64.32	6.82
41年度	H 82	0.98141	0.99082	0.98723	0.98726	2.80	2.59	40.52	46.01	4.72	1.62	0.83	1.323	1.68	2.73	0.29	64.42	7.18
40年度	H 81	0.98175	0.99090	0.98766	0.98766	2.81	2.61	40.48	46.05	4.92	1.65	0.84	1.322	1.75	2.77	0.31	64.53	7.68
39年度	H 80	0.98207	0.99098	0.98755	0.98755	2.82	2.63	40.44	46.08	5.13	1.68	0.85	1.320	1.80	2.85	0.34	64.63	7.89
38年度	H 79	0.98239	0.99106	0.98743	0.98743	2.83	2.65	40.40	46.12	5.35	1.71	0.86	1.318	1.82	2.81	0.35	64.74	7.99
37年度	H 78	0.98272	0.99114	0.98731	0.98731	2.84	2.67	40.36	46.15	5.57	1.74	0.87	1.316	1.80	2.89	0.36	64.84	8.11
36年度	H 77	0.98309	0.99122	0.98719	0.98719	2.85	2.69	40.32	46.19	5.77	1.77	0.88	1.314	1.88	2.93	0.38	64.95	8.40
35年度	H 76	0.98359	0.99130	0.98707	0.98707	2.86	2.71	40.28	46.22	6.01	1.80	0.89	1.312	1.96	2.97	0.40	65.05	8.70
34年度	H 75	0.98427	0.99138	0.98695	0.98695	2.87	2.73	40.24	46.26	6.25	1.83	0.90	1.310	2.04	3.01	0.42	65.16	9.00
33年度	H 74	0.98505	0.99146	0.98683	0.98683	2.88	2.75	40.20	46.29	6.51	1.86	0.91	1.308	2.13	3.05	0.45	65.27	9.35
32年度	H 73	0.98594	0.99154	0.98671	0.98671	2.89	2.77	40.16	46.33	6.77	1.88	0.92	1.306	2.23	3.08	0.47	65.37	9.65
31年度	H 72	0.98694	0.99162	0.98659	0.98659	2.90	2.79	40.12	46.36	7.04	1.92	0.93	1.304	2.33	3.13	0.50	65.47	10.00
30年度	H 71	0.98806	0.99170	0.98647	0.98647	2.91	2.81	40.08	46.40	7.34	1.96	0.94	1.302	2.43	3.17	0.52	65.58	10.37
29年度	H 70	0.98932	0.99178	0.98635	0.98635	2.92	2.83	40.04	46.43	7.64	1.99	0.95	1.300	2.53	3.18	0.53	65.68	10.77
28年度	H 69	0.99074	0.99186	0.98623	0.98623	2.93	2.85	40.00	46.46	7.95	2.03	0.96	1.298	2.63	3.19	0.54	65.78	11.17
27年度	H 68	0.99230	0.99194	0.98611	0.98611	2.94	2.87	39.96	46.49	8.27	2.07	0.97	1.296	2.73	3.21	0.55	65.88	11.55
26年度	H 67	0.99404	0.99202	0.98599	0.98599	2.95	2.89	39.92	46.52	8.61	2.11	0.98	1.294	2.83	3.23	0.56	65.98	11.91
25年度	H 66	0.99596	0.99210	0.98587	0.98587	2.96	2.91	39.88	46.55	8.96	2.15	0.99	1.292	2.93	3.25	0.57	66.08	12.20
24年度	H 65	0.99806	0.99218	0.98575	0.98575	2.97	2.93	39.84	46.58	9.33	2.19	1.00	1.290	3.04	3.27	0.58	66.18	12.41
23年度	H 64	0.99937	0.99226	0.98563	0.98563	2.98	2.95	39.80	46.61	9.71	2.23	1.01	1.288	3.15	3.29	0.59	66.28	12.60
22年度	H 63	0.99979	0.99234	0.98551	0.98551	2.99	2.97	39.76	46.64	10.10	2.27	1.02	1.286	3.26	3.31	0.60	66.37	12.79
21年度	H 62	0.99999	0.99242	0.98539	0.98539	3.00	2.99	39.72	46.67	10.54	2.32	1.03	1.284	3.37	3.33	0.61	66.46	12.97
20年度	H 61	0.99999	0.99250	0.98527	0.98527	3.01	3.00	39.68	46.70	11.04	2.37	1.04	1.282	3.48	3.35	0.62	66.55	13.15
19年度	H 60	0.99999	0.99258	0.98515	0.98515	3.02	3.01	39.64	46.73	11.59	2.42	1.05	1.280	3.57	3.37	0.63	66.63	13.32
18年度	H 59	0.99999	0.99266	0.98503	0.98503	3.03	3.02	39.60	46.76	12.19	2.47	1.06	1.278	3.68	3.39	0.64	66.72	13.49
17年度	H 58	0.99999	0.99274	0.98491	0.98491	3.04	3.03	39.56	46.79	12.84	2.52	1.07	1.276	3.77	3.41	0.65	66.80	13.66
16年度	H 57	0.99999	0.99282	0.98479	0.98479	3.05	3.04	39.52	46.82	13.54	2.57	1.08	1.274	3.86	3.43	0.66	66.88	13.82
15年度	H 56	0.99999	0.99290	0.98467	0.98467	3.06	3.05	39.48	46.85	14.29	2.62	1.09	1.272	3.96	3.45	0.67	66.96	13.99
14年度	H 55	0.99999	0.99298	0.98455	0.98455	3.07	3.06	39.44	46.88	15.07	2.67	1.10	1.270	4.06	3.47	0.68	67.04	14.16
13年度	H 54	0.99999	0.99306	0.98443	0.98443	3.08	3.07	39.40	46.91	15.89	2.72	1.11	1.268	4.16	3.49	0.69	67.12	14.33
12年度	H 53	0.99999	0.99314	0.98431	0.98431	3.09	3.08	39.36	46.94	16.74	2.77	1.12	1.266	4.26	3.51	0.70	67.20	14.50
11年度	H 52	0.99999	0.99322	0.98419	0.98419	3.10	3.09	39.32	46.97	17.64	2.82	1.13	1.264	4.36	3.53	0.71	67.28	14.67
10年度	H 51	0.99999	0.99330	0.98407	0.98407	3.11	3.10	39.28	47.00	18.58	2.87	1.14	1.262	4.46	3.55	0.72	67.36	14.84
9年度	H 50	0.99999	0.99338	0.98395	0.98395	3.12	3.11	39.24	47.03	19.57	2.92	1.15	1.260	4.56	3.57	0.73	67.44	15.01
8年度	H 49	0.99999	0.99346	0.98383	0.98383	3.13	3.12	39.20	47.06	20.60	2.97	1.16	1.258	4.66	3.59	0.74	67.52	15.18
7年度	H 48	0.99999	0.99354	0.98371	0.98371	3.14	3.13	39.16	47.09	21.68	3.02	1.17	1.256	4.76	3.61	0.75	67.60	15.35
6年度	H 47	0.99999	0.99362	0.98359	0.98359	3.15	3.14	39.12	47.12	22.81	3.07	1.18	1.254	4.86	3.63	0.76	67.68	15.52
5年度	H 46	0.99999	0.99370	0.98347	0.98347	3.16	3.15	39.08	47.15	24.00	3.12	1.19	1.252	4.96	3.65	0.77	67.76	15.69
4年度	H 45	0.99999	0.99378	0.98335	0.98335	3.17	3.16	39.04	47.18	25.24	3.17	1.20	1.250	5.06	3.67	0.78	67.84	15.86
3年度	H 44	0.99999	0.99386	0.98323	0.98323	3.18	3.17	39.00	47.21	26.54	3.22	1.21	1.248	5.16	3.69	0.79	67.92	16.03
2年度	H 43	0.99999	0.99394	0.98311	0.98311	3.19	3.18	38.96	47.24	27.90	3.27	1.22	1.246	5.26	3.71	0.80	68.00	16.20
1年度	H 42	0.99999	0.99402	0.98299	0.98299	3.20	3.19	38.92	47.27	29.32	3.32	1.23	1.244	5.36	3.73	0.81	68.08	16.37
0年度	H 41	0.99999	0.99410	0.98287	0.98287	3.21	3.20	38.88	47.30	30.79	3.37							

③一般国道7号（日本海沿岸東北自動車道）
朝日温海道路

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道7号 (日本海沿岸東北自動車道)	朝日温海道路	L=40.8km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
8,500~11,400	2	東北地方整備局 北陸地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	1,812億円	500億円	2,313億円
基準年における 現在価値(C)	1,391億円	145億円	1,536億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成35年度			
単年便益 (初年便益)	116億円	34億円	10億円	160億円
基準年における 現在価値(B)	1,501億円	442億円	132億円	2,075億円

③ 結果

費用便益比(事業全体)	1.4
経済的純現在価値(事業全体)	539億円
経済的內部収益率(事業全体)	5.8

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	8,500~11,400	±10%	1.2~1.6
事業費	1,812億円	±10%	1.2~1.5
事業期間	10年	±20%	1.3~1.4

交通状況の変化

事業名 朝日温海道路

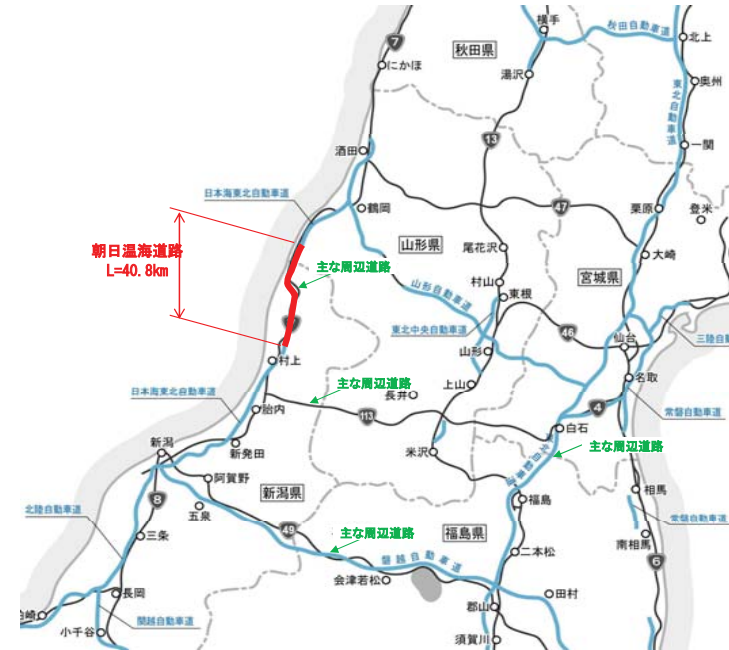
様式-3①

(推計時点 H42年)

		整備なし(A)	整備あり(B)		
①新設・改築道路 L=40.8km	交通量 ^{※1}	[台/日]	10,300		
	走行時間 ^{※2}	[分]	32		
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	67.97		
②主な周 辺道路 ^{※4}	国道7号 現道 L=45.9km	交通量	8,000	1,000	
		走行時間	69	63	
		走行時間費用	108.86	9.59	
	国道113 号 L=83.4km	交通量	9,000	8,200	
		走行時間	123	119	
		走行時間費用	207.15	183.73	
	磐越道 L=153.7k m	交通量	10,000	9,700	
		走行時間	151	151	
		走行時間費用	602.53	583.69	
	東北道 L=248.6k m	交通量	32,200	31,400	
		走行時間	166	165	
		走行時間費用	1,023.20	993.69	
③その他道路合計 L=7,760.3km	走行時間費用	[億円/年]	15,248.47	15,248.02	
		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A-B)	
合計: 8,332.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	17,190.21	17,086.68	103.53

- ※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名: 朝日温海道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成24年度
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> ()
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
速度設定の考え方	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他()	<input type="checkbox"/>
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmax~Qmin)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	<input checked="" type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
その他()	<input type="checkbox"/>	

事業名: 朝日温海道路

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮 採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載 とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	() 日
冬期交通の影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数(年あたり) 採用した冬期日数の考え方を記載 降雪が最初に観測された観測日から最後に観測された日までの日数考慮 冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載 通常期と冬期の速度比を考慮	(107)日
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

事業名: 朝日温海道路

(4)

項目		チェック欄	
費用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	その他(概略事業計画による値を採用)	<input checked="" type="checkbox"/>
		維持管理費の設定根拠を記載	
雪寒費	北陸地方整備局管内直轄路線の実績値から設定		
その他	積雪地域または寒冷地域である	<input checked="" type="checkbox"/>	
4. その他			
.....			
.....			
.....			

費用の現在価値算定表

箇所名: 朝日温海道路

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)		単純単価(億円)	
				0.26	40.8	10.51	
				事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-11年目	H 24	1.0000	93.8				
-10年目	H 25	0.9615	93.8	0.95	0.91	0.0	0.0
-9年目	H 26	0.9246	93.8	39.05	36.11	0.0	0.0
-8年目	H 27	0.8890	93.8	64.33	57.19	0.0	0.0
-7年目	H 28	0.8548	93.8	120.66	103.14	0.0	0.0
-6年目	H 29	0.8219	93.8	287.22	236.07	0.0	0.0
-5年目	H 30	0.7903	93.8	322.86	255.16	0.0	0.0
-4年目	H 31	0.7599	93.8	310.48	235.93	0.0	0.0
-3年目	H 32	0.7307	93.8	287.62	210.16	0.0	0.0
-2年目	H 33	0.7026	93.8	191.43	134.50	0.0	0.0
-1年目	H 34	0.6756	93.8	187.62	126.76	0.0	0.0
供用開始年次	H 35	0.6496	93.8	0.00	0.00	10.01	6.50
1年目	H 36	0.6246	93.8	0.00	0.00	10.01	6.25
2年目	H 37	0.6006	93.8	0.00	0.00	10.01	6.01
3年目	H 38	0.5775	93.8	0.00	0.00	10.01	5.78
4年目	H 39	0.5553	93.8	0.00	0.00	10.01	5.56
5年目	H 40	0.5339	93.8	0.00	0.00	10.01	5.34
6年目	H 41	0.5134	93.8	0.00	0.00	10.01	5.14
7年目	H 42	0.4936	93.8	0.00	0.00	10.01	4.94
8年目	H 43	0.4746	93.8	0.00	0.00	10.01	4.75
9年目	H 44	0.4564	93.8	0.00	0.00	10.01	4.57
10年目	H 45	0.4388	93.8	0.00	0.00	10.01	4.39
11年目	H 46	0.4220	93.8	0.00	0.00	10.01	4.22
12年目	H 47	0.4057	93.8	0.00	0.00	10.01	4.06
13年目	H 48	0.3901	93.8	0.00	0.00	10.01	3.90
14年目	H 49	0.3751	93.8	0.00	0.00	10.01	3.75
15年目	H 50	0.3607	93.8	0.00	0.00	10.01	3.61
16年目	H 51	0.3468	93.8	0.00	0.00	10.01	3.47
17年目	H 52	0.3335	93.8	0.00	0.00	10.01	3.34
18年目	H 53	0.3207	93.8	0.00	0.00	10.01	3.21
19年目	H 54	0.3083	93.8	0.00	0.00	10.01	3.09
20年目	H 55	0.2965	93.8	0.00	0.00	10.01	2.97
21年目	H 56	0.2851	93.8	0.00	0.00	10.01	2.85
22年目	H 57	0.2741	93.8	0.00	0.00	10.01	2.74
23年目	H 58	0.2636	93.8	0.00	0.00	10.01	2.64
24年目	H 59	0.2534	93.8	0.00	0.00	10.01	2.54
25年目	H 60	0.2437	93.8	0.00	0.00	10.01	2.44
26年目	H 61	0.2343	93.8	0.00	0.00	10.01	2.35
27年目	H 62	0.2253	93.8	0.00	0.00	10.01	2.26
28年目	H 63	0.2166	93.8	0.00	0.00	10.01	2.17
29年目	H 64	0.2083	93.8	0.00	0.00	10.01	2.08
30年目	H 65	0.2003	93.8	0.00	0.00	10.01	2.00
31年目	H 66	0.1926	93.8	0.00	0.00	10.01	1.93
32年目	H 67	0.1852	93.8	0.00	0.00	10.01	1.85
33年目	H 68	0.1780	93.8	0.00	0.00	10.01	1.78
34年目	H 69	0.1712	93.8	0.00	0.00	10.01	1.71
35年目	H 70	0.1646	93.8	0.00	0.00	10.01	1.65
36年目	H 71	0.1583	93.8	0.00	0.00	10.01	1.58
37年目	H 72	0.1522	93.8	0.00	0.00	10.01	1.52
38年目	H 73	0.1463	93.8	0.00	0.00	10.01	1.46
39年目	H 74	0.1407	93.8	0.00	0.00	10.01	1.41
40年目	H 75	0.1353	93.8	0.00	0.00	10.01	1.35
41年目	H 76	0.1301	93.8	0.00	0.00	10.01	1.30
42年目	H 77	0.1251	93.8	0.00	0.00	10.01	1.25
43年目	H 78	0.1203	93.8	0.00	0.00	10.01	1.20
44年目	H 79	0.1157	93.8	0.00	0.00	10.01	1.16
45年目	H 80	0.1112	93.8	0.00	0.00	10.01	1.11
46年目	H 81	0.1069	93.8	0.00	0.00	10.01	1.07
47年目	H 82	0.1028	93.8	0.00	0.00	10.01	1.03
48年目	H 83	0.0989	93.8	0.00	0.00	10.01	0.99
49年目	H 84	0.0951	93.8	-56.30	-5.35	10.01	0.95
合計				1,755.92	1,390.58	500.48	145.22
単純事業費計				1,812.22		500.48	

注1) 事業費の投資パターンは、概略事業計画による値を採用したものであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

④一般国道103号 奥入瀬（青樺山）バイパス

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道103号	青ブナ山バイパス	L=5.2km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
3,000	2	東北地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	219億円	14億円	233億円
基準年における 現在価値 (C)	170億円	4.1億円	174億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成34年度			
単年便益 (初年便益)	13億円	1.2億円	0.1億円	14億円
基準年における 現在価値 (B)	168億円	17億円	1.8億円	186億円

③ 結果

費用便益比 (事業全体)	1.1
経済的純現在価値 (事業全体)	12億円
経済的内部収益率 (事業全体)	4.4%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	3,000台/日	±10%	0.98~1.3
事業費	219億円	±10%	0.98~1.2
事業期間	9年	±20%	0.97~1.1

交通状況の変化

事業名：一般国道103号 青ブナ山バイパス

(推計時点 H42年)

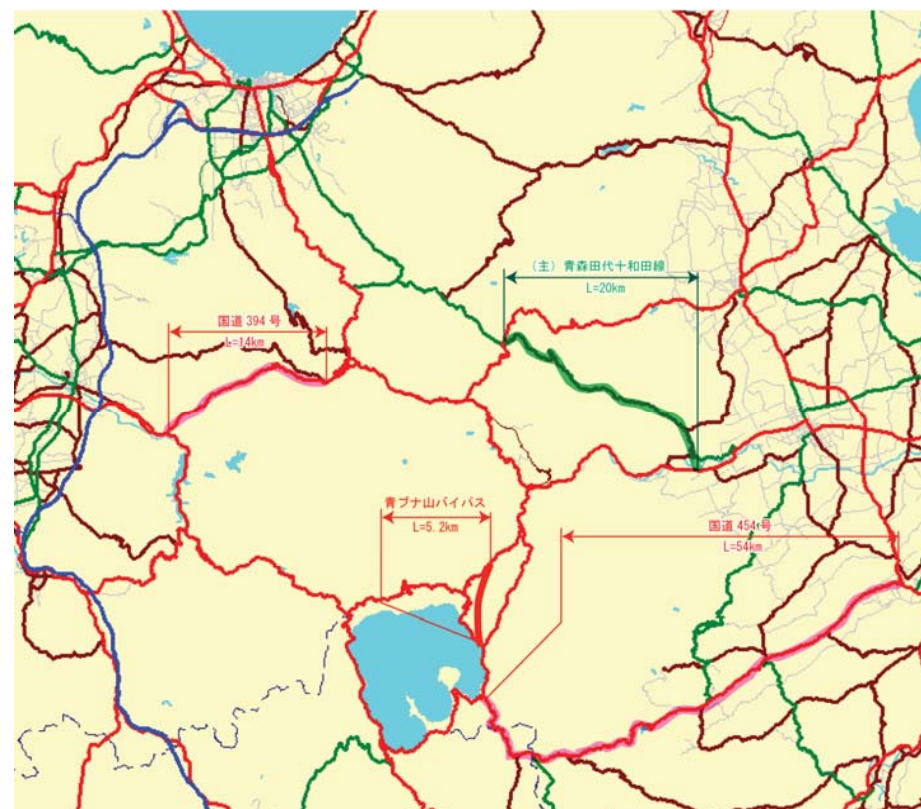
		整備なし(A)	整備あり(B)		
①新設・改築道路 [バイパス等] :5.20km	交通量	[台/日]	3,000		
	走行時間	[分]	6		
	走行時間費用	[億円/年]	3.38		
②主な周辺道路	現道(一般国道102号) :10km	交通量	[台/日]	2,000	0
		走行時間	[分]	31	30
		走行時間費用	[億円/年]	11.31	0.00
	一般国道454号 :54km	交通量	[台/日]	1,700	1,300
		走行時間	[分]	86	86
		走行時間費用	[億円/年]	27.33	21.72
	一般国道394号 :14km	交通量	[台/日]	900	800
		走行時間	[分]	27	27
		走行時間費用	[億円/年]	4.37	4.20
	(主)青森田代十和田線 :20km	交通量	[台/日]	1,100	1,000
		走行時間	[分]	39	39
		走行時間費用	[億円/年]	7.86	7.59
③その他道路合計 :2,708.83km	走行時間費用	[億円/年]	6,280.59	6,284.78	

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)	
合計:2,811.72km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,331.46	6,321.67	9.79

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

事業名：一般国道103号 青ブナ山バイパス

【図面(①、②に該当する道路)】



費用便益分析の条件

事業名：一般国道103号 青ブナ山バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	■
	その他	□
分析の基本的事項	分析対象期間	50年
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成25年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	■(H42年)
	複数時点での推計	□
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	■
	整備の有無のいずれかのみ推計	□有 □無
	いずれかのみ推計の場合 いずれかのみ推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	■ (H17センサス)
	パーソナルトリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	□
	その他()	□
	無	■
開発交通量の考慮	有	□
	有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
	無	■
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	□
	転換率式を用いた配分	□
	Q-V式と転換率式の併用による配分	■
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	□
	簡易手法	□
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	■
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度 採用理由を記載	□
	その他()	□

事業名：一般国道103号 青ブナ山バイパス

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	□	
	考慮する	■	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	□
		対象路線のみ考慮	■
採用した休日係数 当該区間の平休日より設定(H21.4~11平均)		(164) %	
災害等による通行止めの影響	考慮しない	□	
	考慮する	■	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 当該区間の災害通行止め日数より設定(H19~23平均)	(5) 日
とり止め交通を考慮する		□	
冬期交通の影響	考慮しない	□	
	考慮する	■	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 当該区間を管轄する青森県上北地域県民局の除雪稼働日数より設定(H19~23平均)	(134) 日
冬期の走行速度と交通容量の関係			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	■	
	その他()	□	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	■	
	独自に設定した値を使用	□	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	■	
	独自に設定した値を使用	□	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	■	
	中央分離帯の有無を考慮しない	□	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	■	
	考慮する	□	
その他			

⑤一般国道42号 新宮紀宝道路

(新規事業採択時評価)

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道42号	新宮紀宝道路	L=2.4km	高規格	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
11,600	2車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	200億円	13億円	213億円
基準年における 現在価値(C)	147億円	4億円	150億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成35年度			
単年便益 (初年便益)	11億円	1.7億円	0.9億円	14億円
基準年における 現在価値(B)	146億円	22億円	12億円	180億円

注)「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比(事業全体)	1.2
経済的純現在価値(事業全体)	30億円
経済的内部収益率(事業全体)	5.0%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	11,600台/日	±10%	1.1~1.3
事業費	200億円	±10%	1.1~1.3
事業期間	10年	±20%	1.1~1.3

交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道42号 新宮紀宝道路

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)		
①新設・改築道路 (2.4km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	11,600		
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	2		
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	3.15		
②主な周辺道路 ^{※4}	国道42号 (2.5km)	交通量	[台/日]	7,900	3,900	
		走行時間	[分]	8	5	
		走行時間費用	[億円/年]	9.87	3.43	
	国道42号 (紀宝バイパス) (2.1km)	交通量	[台/日]	15,700	6,700	
		走行時間	[分]	4	3	
		走行時間費用	[億円/年]	10.64	3.35	
	(県)新宮 停車場線 (0.9km)	交通量	[台/日]	5,200	500	
		走行時間	[分]	3	3	
		走行時間費用	[億円/年]	2.64	0.21	
		交通量	[台/日]	0	0	
		走行時間	[分]	0	0	
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 (5,390.9km)	交通量	[台/日]	0	0		
	走行時間	[分]	0	0		
	走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00		
③その他道路合計 (5,390.9km)			走行時間費用	[億円/年]	20,415.85	20,417.57

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A-B)	
合計: 5,398.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	20,439.00	20,427.70	11.30

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名:一般国道42号 新宮紀宝道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成24年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ の推計の場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスペース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有 有の場合のみ	<input type="checkbox"/> 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
速度設定の考え方	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	<input checked="" type="checkbox"/>
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
速度設定の考え方	最終配分の速度 採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、 最終速度を採用。	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名: 一般国道42号 新宮紀宝道路

維持管理費の単純単価の算出(消費費相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-10年目	H 25	0.9615	93.8	0.95	0.92		
-9年目	H 26	0.9246	93.8	2.86	2.64		
-8年目	H 27	0.8890	93.8	3.81	3.39		
-7年目	H 28	0.8548	93.8	6.67	5.70		
-6年目	H 29	0.8219	93.8	9.52	7.83		
-5年目	H 30	0.7903	93.8	19.05	15.05		
-4年目	H 31	0.7599	93.8	40.00	30.40		
-3年目	H 32	0.7307	93.8	40.95	29.92		
-2年目	H 33	0.7026	93.8	43.81	30.78		
-1年目	H 34	0.6756	93.8	32.38	21.88		
供用開始年次	H 35	0.6496	93.8			0.25	0.16
1年目	H 36	0.6246	93.8			0.25	0.16
2年目	H 37	0.6006	93.8			0.25	0.15
3年目	H 38	0.5775	93.8			0.25	0.15
4年目	H 39	0.5553	93.8			0.25	0.14
5年目	H 40	0.5339	93.8			0.25	0.13
6年目	H 41	0.5134	93.8			0.25	0.13
7年目	H 42	0.4936	93.8			0.25	0.12
8年目	H 43	0.4746	93.8			0.25	0.12
9年目	H 44	0.4564	93.8			0.25	0.11
10年目	H 45	0.4388	93.8			0.25	0.11
11年目	H 46	0.4220	93.8			0.25	0.11
12年目	H 47	0.4057	93.8			0.25	0.10
13年目	H 48	0.3901	93.8			0.25	0.10
14年目	H 49	0.3751	93.8			0.25	0.09
15年目	H 50	0.3607	93.8			0.25	0.09
16年目	H 51	0.3468	93.8			0.25	0.09
17年目	H 52	0.3335	93.8			0.25	0.08
18年目	H 53	0.3207	93.8			0.25	0.08
19年目	H 54	0.3083	93.8			0.25	0.08
20年目	H 55	0.2965	93.8			0.25	0.07
21年目	H 56	0.2851	93.8			0.25	0.07
22年目	H 57	0.2741	93.8			0.25	0.07
23年目	H 58	0.2636	93.8			0.25	0.07
24年目	H 59	0.2534	93.8			0.25	0.06
25年目	H 60	0.2437	93.8			0.25	0.06
26年目	H 61	0.2343	93.8			0.25	0.06
27年目	H 62	0.2253	93.8			0.25	0.06
28年目	H 63	0.2166	93.8			0.25	0.05
29年目	H 64	0.2083	93.8			0.25	0.05
30年目	H 65	0.2003	93.8			0.25	0.05
31年目	H 66	0.1926	93.8			0.25	0.05
32年目	H 67	0.1852	93.8			0.25	0.05
33年目	H 68	0.1780	93.8			0.25	0.04
34年目	H 69	0.1712	93.8			0.25	0.04
35年目	H 70	0.1646	93.8			0.25	0.04
36年目	H 71	0.1583	93.8			0.25	0.04
37年目	H 72	0.1522	93.8			0.25	0.04
38年目	H 73	0.1463	93.8			0.25	0.04
39年目	H 74	0.1407	93.8			0.25	0.04
40年目	H 75	0.1353	93.8			0.25	0.03
41年目	H 76	0.1301	93.8			0.25	0.03
42年目	H 77	0.1251	93.8			0.25	0.03
43年目	H 78	0.1203	93.8			0.25	0.03
44年目	H 79	0.1157	93.8			0.25	0.03
45年目	H 80	0.1112	93.8			0.25	0.03
46年目	H 81	0.1069	93.8			0.25	0.03
47年目	H 82	0.1028	93.8			0.25	0.03
48年目	H 83	0.0989	93.8			0.25	0.02
49年目	H 84	0.0951	93.8			0.25	0.02
合計				182.07	146.80	12.57	3.63
単純事業費計				200.00		12.57	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

年次	年度	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)		費用便益(億円)		費用便益(億円)		合計
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	①	②	③	④	
1年目	H 36	0.6246	93.8	0.95	0.92	8.23	7.97	1.27	1.01	1.40	8.23
2年目	H 37	0.6006	93.8	2.86	2.64	8.22	7.96	1.30	1.03	1.41	8.22
3年目	H 38	0.5775	93.8	3.81	3.39	8.20	7.94	1.33	1.05	1.42	8.20
4年目	H 39	0.5553	93.8	6.67	5.70	8.19	7.92	1.36	1.07	1.43	8.19
5年目	H 40	0.5339	93.8	9.52	7.83	8.18	7.90	1.39	1.09	1.44	8.18
6年目	H 41	0.5134	93.8	19.05	15.05	8.17	7.88	1.42	1.11	1.45	8.17
7年目	H 42	0.4936	93.8	40.00	30.40	8.16	7.86	1.45	1.13	1.46	8.16
8年目	H 43	0.4746	93.8	40.95	29.92	8.15	7.84	1.48	1.15	1.47	8.15
9年目	H 44	0.4564	93.8	43.81	30.78	8.14	7.82	1.51	1.17	1.48	8.14
10年目	H 45	0.4388	93.8	32.38	21.88	8.13	7.80	1.54	1.19	1.49	8.13
11年目	H 46	0.4220	93.8			8.12	7.78	1.57	1.21	1.50	8.12
12年目	H 47	0.4057	93.8			8.11	7.76	1.60	1.23	1.51	8.11
13年目	H 48	0.3901	93.8			8.10	7.74	1.63	1.25	1.52	8.10
14年目	H 49	0.3751	93.8			8.09	7.72	1.66	1.27	1.53	8.09
15年目	H 50	0.3607	93.8			8.08	7.70	1.69	1.29	1.54	8.08
16年目	H 51	0.3468	93.8			8.07	7.68	1.72	1.31	1.55	8.07
17年目	H 52	0.3335	93.8			8.06	7.66	1.75	1.33	1.56	8.06
18年目	H 53	0.3207	93.8			8.05	7.64	1.78	1.35	1.57	8.05
19年目	H 54	0.3083	93.8			8.04	7.62	1.81	1.37	1.58	8.04
20年目	H 55	0.2965	93.8			8.03	7.60	1.84	1.39	1.59	8.03
21年目	H 56	0.2851	93.8			8.02	7.58	1.87	1.41	1.60	8.02
22年目	H 57	0.2741	93.8			8.01	7.56	1.90	1.43	1.61	8.01
23年目	H 58	0.2636	93.8			8.00	7.54	1.93	1.45	1.62	8.00
24年目	H 59	0.2534	93.8			7.99	7.52	1.96	1.47	1.63	7.99
25年目	H 60	0.2437	93.8			7.98	7.50	1.99	1.49	1.64	7.98
26年目	H 61	0.2343	93.8			7.97	7.48	2.02	1.51	1.65	7.97
27年目	H 62	0.2253	93.8			7.96	7.46	2.05	1.53	1.66	7.96
28年目	H 63	0.2166	93.8			7.95	7.44	2.08	1.55	1.67	7.95
29年目	H 64	0.2083	93.8			7.94	7.42	2.11	1.57	1.68	7.94
30年目	H 65	0.2003	93.8			7.93	7.40	2.14	1.59	1.69	7.93
31年目	H 66	0.1926	93.8			7.92	7.38	2.17	1.61	1.70	7.92
32年目	H 67	0.1852	93.8			7.91	7.36	2.20	1.63	1.71	7.91
33年目	H 68	0.1780	93.8			7.90	7.34	2.23	1.65	1.72	7.90
34年目	H 69	0.1712	93.8			7.89	7.32	2.26	1.67	1.73	7.89
35年目	H 70	0.1646	93.8			7.88	7.30	2.29	1.69	1.74	7.88
36年目	H 71	0.1583	93.8			7.87	7.28	2.32	1.71	1.75	7.87
37年目	H 72	0.1522	93.8			7.86	7.26	2.35	1.73	1.76	7.86
38年目	H 73	0.1463	93.8			7.85	7.24	2.38	1.75	1.77	7.85
39年目	H 74	0.1407	93.8			7.84	7.22	2.41	1.77	1.78	7.84
40年目	H 75	0.1353	93.8			7.83	7.20	2.44	1.79	1.79	7.83
41年目	H 76	0.1301	93.8			7.82	7.18	2.47	1.81	1.80	7.82
42年目	H 77	0.1251	93.8			7.81	7.16	2.50	1.83	1.81	7.81
43年目	H 78	0.1203	93.8			7.80	7.14	2.53	1.85	1.82	7.80
44年目	H 79	0.1157	93.8			7.79	7.12	2.56	1.87	1.83	7.79
45年目	H 80	0.1112	93.8			7.78	7.10	2.59	1.89	1.84	7.78
46年目	H 81	0.1069	93.8			7.77	7.08	2.62	1.91	1.85	7.77
47年目	H 82	0.1028	93.8			7.76	7.06	2.65	1.93	1.86	7.76
48年目	H 83	0.0989	93.8			7.75	7.04	2.68	1.95	1.87	7.75
49年目	H 84	0.0951	93.8			7.74	7.02	2.71	1.97	1.88	7.74
合計				182.07	146.80	12.57	3.63	40.88	21.88	42.51	182.07
単純事業費計				200.00		12.57		42.51		42.51	200.00

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	新宮紀宝道路	2	2.4

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	金額 (百万円)	備考	
①工事費			式	1	12,404	
	改良費		式	1	3,570	
		土工	式	1	2,686	切土(4万m3)、盛土(60万m3)
		軟弱地盤改良工	m3	0	0	
		法面工	式	1	93	切土法面、盛土法面、切土補強工
		擁壁工	式	1	130	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		函渠工	式	1	352	
		排水工	式	1	129	
		中央分離帯工	m	2,088	180	
	橋梁費		m	859	6,207	
		100m以上	m	814	5,848	
		100m未満	m	45	359	
	トンネル費		m	0	0	
		NATM	m	0	0	
		シールド	m	0	0	
	IC・JCT費		箇所	3	2,263	
		IC	箇所	3	2,263	
		JCT	箇所			
	舗装費		m ²	18,175	237	
		車道舗装	m ²	18,175	237	
		歩道舗装等	m ²	0	0	
	付帯施設費		式	1	127	
		交通管理施設工	式	1	127	標識工、防護柵工、立入防止柵等
②用地及補償費			式	1	5,448	
	用地費		m ²	481,250	1,793	
		山林	m ²	18,450	21	
		田畑	m ²	70,800	312	
		宅地	m ²	392,000	1,460	
	補償費		式	1	3,655	
③間接経費			式	1	3,148	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
事業費合計					21,000	

⑥一般国道168号 五條新宮道路
(風屋川津・宇宮原工区)

(新規事業採択時評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現払・B.P・その他の別
国道168号	一般国道168号 五條新宮道路 (風屋川津・宇宮原工区)	L=6.7km	地域高規格	B.P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
宇宮原 : 3,000 風屋川津 : 5,400	2車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	229億円	3.2億円	232億円
基準年における 現在価値 (C)	167億円	0.9億円	168億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成35年度			
単年便益 (初年便益)	19億円	2.5億円	0.2億円	21億円
基準年における 現在価値 (B)	253億円	34億円	2.1億円	289億円

注) 「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比 (事業全体)	1.7203
経済的純現在価値 (事業全体)	121億円
経済的内部収益率 (事業全体)	7.4%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	宇宮原 : 3,000 風屋川津 : 5,400	±10%	1.5~2.0
事業費	229億円	±10%	1.6~1.9
事業期間	10年	±20%	1.6~1.8

交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道168号五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

(推計時点 H42年)

		整備なし(A)	整備あり(B)		
①新設・改築道路 宇宮原工区 (1.2km)	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	3,000	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	1	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	0.75	
②新設・改築道路 風屋川津工区 (5.5km)	交通量	[台/日]	5,400	5,400	
	走行時間	[分]	1	7	
	走行時間費用	[億円/年]	1.49	7.04	
③主な周辺道路 ^{※4}	国道168号 (10.5km)	交通量	[台/日]	5,000	0
		走行時間	[分]	27	0
		走行時間費用	[億円/年]	25.27	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0.00	0.00
	③その他道路合計 (7.815.6km)	走行時間費用	[億円/年]	23,878.69	23,878.63

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A-B)	
合計 : 7,832.8km	走行時間短縮便益	[億円/年]	23,905.45	23,886.43	19.02

※1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面 (①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：一般国道168号五條新宮道路(風屋川津・宇宮原工区)

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成24年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ推計の場合 いずれかのみ推計とした理由を記載	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスペース)
	パーソナリティ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有 有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()	<input type="checkbox"/>
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	<input checked="" type="checkbox"/>
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、最終速度を採用。	<input checked="" type="checkbox"/>
その他()	<input type="checkbox"/>	

(3)

		項目	チェック欄
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	
		考慮する	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮 対象路線のみ考慮 採用した休日係数 () % 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	
		考慮する	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 (19) 日 採用した通行止め日数の考え方を記載 過去10年の実績値より算出 とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載
	冬期交通の 影響	考慮しない	
		考慮する	
		考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 () 日 採用した冬期日数の考え方を記載 冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載
	交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定 その他 ()	
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		
	独自に設定した値を使用		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用		
	独自に設定した値を使用		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮		
	中央分離帯の有無を考慮しない		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない		
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)		
その他			

(4)

		項目	チェック欄
費 用 の 算 定	事業費	詳細事業計画による値を採用	
		標準投資パターンを採用	
		その他()	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
		既存の路線の実績を参考に設定	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である		
その他			
4. その他			

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名: 国道168号 一般国道168号五條新宮道路(屋屋川津・宇

維持管理費の単純単価の算出(消費費相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-10年目	H 25	0.9615	93.8	0.48	0.46		
-9年目	H 26	0.9246	93.8	1.43	1.32		
-8年目	H 27	0.8890	93.8	1.90	1.69		
-7年目	H 28	0.8548	93.8	3.81	3.26		
-6年目	H 29	0.8219	93.8	6.67	5.48		
-5年目	H 30	0.7903	93.8	19.05	15.05		
-4年目	H 31	0.7599	93.8	36.19	27.50		
-3年目	H 32	0.7307	93.8	45.71	33.40		
-2年目	H 33	0.7026	93.8	86.67	60.89		
-1年目	H 34	0.6756	93.8	26.67	18.02		
供用開始年次	H 35	0.6496	93.8			0.06	0.04
1年目	H 36	0.6246	93.8			0.06	0.04
2年目	H 37	0.6006	93.8			0.06	0.04
3年目	H 38	0.5775	93.8			0.06	0.04
4年目	H 39	0.5553	93.8			0.06	0.04
5年目	H 40	0.5339	93.8			0.06	0.03
6年目	H 41	0.5134	93.8			0.06	0.03
7年目	H 42	0.4936	93.8			0.06	0.03
8年目	H 43	0.4746	93.8			0.06	0.03
9年目	H 44	0.4564	93.8			0.06	0.03
10年目	H 45	0.4388	93.8			0.06	0.03
11年目	H 46	0.4220	93.8			0.06	0.03
12年目	H 47	0.4057	93.8			0.06	0.03
13年目	H 48	0.3901	93.8			0.06	0.02
14年目	H 49	0.3751	93.8			0.06	0.02
15年目	H 50	0.3607	93.8			0.06	0.02
16年目	H 51	0.3468	93.8			0.06	0.02
17年目	H 52	0.3335	93.8			0.06	0.02
18年目	H 53	0.3207	93.8			0.06	0.02
19年目	H 54	0.3083	93.8			0.06	0.02
20年目	H 55	0.2965	93.8			0.06	0.02
21年目	H 56	0.2851	93.8			0.06	0.02
22年目	H 57	0.2741	93.8			0.06	0.02
23年目	H 58	0.2636	93.8			0.06	0.02
24年目	H 59	0.2534	93.8			0.06	0.02
25年目	H 60	0.2437	93.8			0.06	0.02
26年目	H 61	0.2343	93.8			0.06	0.01
27年目	H 62	0.2253	93.8			0.06	0.01
28年目	H 63	0.2166	93.8			0.06	0.01
29年目	H 64	0.2083	93.8			0.06	0.01
30年目	H 65	0.2003	93.8			0.06	0.01
31年目	H 66	0.1926	93.8			0.06	0.01
32年目	H 67	0.1852	93.8			0.06	0.01
33年目	H 68	0.1780	93.8			0.06	0.01
34年目	H 69	0.1712	93.8			0.06	0.01
35年目	H 70	0.1646	93.8			0.06	0.01
36年目	H 71	0.1583	93.8			0.06	0.01
37年目	H 72	0.1522	93.8			0.06	0.01
38年目	H 73	0.1463	93.8			0.06	0.01
39年目	H 74	0.1407	93.8			0.06	0.01
40年目	H 75	0.1353	93.8			0.06	0.01
41年目	H 76	0.1301	93.8			0.06	0.01
42年目	H 77	0.1251	93.8			0.06	0.01
43年目	H 78	0.1203	93.8			0.06	0.01
44年目	H 79	0.1157	93.8			0.06	0.01
45年目	H 80	0.1112	93.8			0.06	0.01
46年目	H 81	0.1069	93.8			0.06	0.01
47年目	H 82	0.1028	93.8			0.06	0.01
48年目	H 83	0.0989	93.8			0.06	0.01
49年目	H 84	0.0951	93.8			0.06	0.01
合計				228.50	167.06	3.19	0.94
単純事業費計				228.57		3.19	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

年次	年度	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)		定行積算便益		定行積算便益		事故減少便益		合計
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値	①社	②社	③	④	⑤		
1年目	H 35	0.9615	93.8	0.48	0.46	8.78	4.76	5.16	18.70	11.34	2.47	1.55	21.38
2年目	H 36	0.9246	93.8	1.43	1.32	8.78	4.71	5.22	18.78	11.34	2.48	1.46	21.44
3年目	H 37	0.8890	93.8	1.90	1.69	8.78	4.69	5.40	18.84	11.34	2.49	1.40	21.50
4年目	H 38	0.8548	93.8	3.81	3.26	8.78	4.65	5.55	18.89	11.34	2.50	1.31	21.58
5年目	H 39	0.8219	93.8	6.67	5.48	8.78	4.63	5.63	18.90	11.34	2.54	1.26	21.68
6年目	H 40	0.7903	93.8	19.05	15.05	8.78	4.60	5.71	18.92	11.34	2.55	1.22	21.74
7年目	H 41	0.7599	93.8	36.19	27.50	8.78	4.58	5.72	18.93	11.34	2.54	1.14	21.84
8年目	H 42	0.7307	93.8	45.71	33.40	8.78	4.55	5.72	18.94	11.34	2.54	1.12	21.88
9年目	H 43	0.7026	93.8	86.67	60.89	8.78	4.52	5.72	18.94	11.34	2.52	1.03	21.93
10年目	H 44	0.6756	93.8	26.67	18.02	8.78	4.48	5.76	18.96	11.34	2.52	1.03	21.93
11年目	H 45	0.6496	93.8			8.78	4.46	5.76	18.96	11.34	2.51	0.94	21.93
12年目	H 46	0.6246	93.8			8.78	4.43	5.77	18.97	11.34	2.50	0.94	21.93
13年目	H 47	0.5999	93.8			8.78	4.40	5.78	18.98	11.34	2.49	0.93	21.93
14年目	H 48	0.5753	93.8			8.78	4.37	5.80	18.98	11.34	2.48	0.93	21.93
15年目	H 49	0.5514	93.8			8.78	4.34	5.80	18.98	11.34	2.48	0.93	21.93
16年目	H 50	0.5279	93.8			8.78	4.31	5.82	18.97	11.34	2.47	0.80	21.93
17年目	H 51	0.5048	93.8			8.78	4.28	5.83	18.97	11.34	2.46	0.76	21.93
18年目	H 52	0.4821	93.8			8.78	4.25	5.84	18.97	11.34	2.45	0.73	21.93
19年目	H 53	0.4598	93.8			8.78	4.22	5.85	18.97	11.34	2.44	0.70	21.93
20年目	H 54	0.4380	93.8			8.78	4.19	5.86	18.97	11.34	2.43	0.67	21.93
21年目	H 55	0.4167	93.8			8.78	4.16	5.87	18.97	11.34	2.42	0.64	21.93
22年目	H 56	0.3959	93.8			8.78	4.13	5.88	18.97	11.34	2.41	0.62	21.93
23年目	H 57	0.3756	93.8			8.78	4.10	5.89	18.97	11.34	2.40	0.59	21.93
24年目	H 58	0.3558	93.8			8.78	4.07	5.90	18.97	11.34	2.39	0.57	21.93
25年目	H 59	0.3365	93.8			8.78	4.04	5.91	18.97	11.34	2.38	0.54	21.93
26年目	H 60	0.3178	93.8			8.78	4.01	5.92	18.97	11.34	2.37	0.52	21.93
27年目	H 61	0.2996	93.8			8.78	3.97	5.93	18.97	11.34	2.36	0.49	21.93
28年目	H 62	0.2819	93.8			8.78	3.94	5.94	18.97	11.34	2.35	0.46	21.93
29年目	H 63	0.2647	93.8			8.78	3.91	5.95	18.97	11.34	2.34	0.44	21.93
30年目	H 64	0.2480	93.8			8.78	3.88	5.96	18.97	11.34	2.33	0.42	21.93
31年目	H 65	0.2328	93.8			8.78	3.85	5.97	18.97	11.34	2.32	0.40	21.93
32年目	H 66	0.2181	93.8			8.78	3.82	5.98	18.97	11.34	2.31	0.38	21.93
33年目	H 67	0.2039	93.8			8.78	3.79	6.02	18.97	11.34	2.30	0.37	21.93
34年目	H 68	0.1902	93.8			8.78	3.76	6.04	18.97	11.34	2.29	0.35	21.93
35年目	H 69	0.1770	93.8			8.78	3.73	6.04	18.97	11.34	2.28	0.34	21.93
36年目	H 70	0.1643	93.8			8.78	3.70	6.05	18.97	11.34	2.28	0.32	21.93
37年目	H 71	0.1521	93.8			8.78	3.67	6.05	18.97	11.34	2.28	0.31	21.93
38年目	H 72	0.1404	93.8			8.78	3.64	6.06	18.97	11.34	2.28	0.30	21.93
39年目	H 73	0.1292	93.8			8.78	3.61	6.06	18.97	11.34	2.28	0.29	21.93
40年目	H 74	0.1185	93.8			8.78	3.58	6.06	18.97	11.34	2.28	0.28	21.93
41年目	H 75	0.1083	93.8			8.78	3.55	6.06	18.97	11.34	2.28	0.28	21.93
42年目	H 76	0.0986	93.8			8.78	3.52	6.06	18.97	11.34	2.28	0.27	21.93
43年目	H 77	0.0894	93.8			8.78	3.49	6.06	18.97	11.34	2.28	0.27	21.93
44年目	H 78	0.0807	93.8			8.78	3.46	6.06	18.97	11.34	2.28	0.26	21.93
45年目	H 79	0.0724	93.8			8.78	3.43	6.06	18.97	11.34	2.28	0.26	21.93
46年目	H 80	0.0646	93.8			8.78	3.40	6.06	18.97	11.34	2.28	0.25	21.93
47年目	H 81	0.0572	93.8			8.78	3.37	6.06	18.97	11.34	2.28	0.25	21.93
48年目	H 82	0.0503	93.8										

別紙-1

路線名	箇所名	車線数	延長
国道168号	五條新宮道路 (風屋川津・宇宮原道路)	2	6.7km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (千円)	備考	
①工事費	改良費			1	272,355		
	土工	m3		7,560	25,386		
	軟弱地盤改良工	m3					
	法面工	m ²					
	雪崩予防柵	m					
	擁壁工	式		1	188,233		
	管渠工	m					
	函渠工	式					
	排水工	式		1	58,736		
	中央分離帯工	m					
	雑工	式					
	橋梁費			264	6,109,855		
		100m以上	m		264	2,297,296	
		100m未満	m		165	1,025,578	
	トンネル費			4,990	14,129,644		
		NATM	m		4,990	14,129,644	
		シールド	m				
	IC・JCT費						
		IC	箇所				
		JCT	箇所				
	舗装費			7,854	52,426		
		車道舗装	m ²		7,854	52,426	
		歩道舗装	m ²				
付帯施設費			1	14,219			
	交通管理施設工	式		1	14,219		
	遮音壁	m					
②用地及補償費			4,376	6,391			
用地費		m ²		6,391	6,391		
	山林・原野	m ²		6,391	6,391		
	田畑	m ²					
	畑(耕地あざ)	m ²					
	宅地	m ²					
補償費	式						
③間接経費	式		1	3,415,000	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費		
③調査設計費	式		1	1,029,000			
④間接費	式		1	205,000			
⑤予備費	式		1	2,181,000			
全体事業費				24,000,000			

⑦一般国道57号 滝室坂道路

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B.P・その他の別
国道57号	滝室坂道路	6.3km	二次改築	B.P

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
6,400	2	九州地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	230億円	24億円	254億円
基準年における 現在価値 (C)	181億円	6.1億円	187億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	15億円	3.8億円	1.3億円	20億円
基準年における 現在価値 (B)	209億円	54億円	18億円	281億円

③ 結果

費用便益比 (事業全体)	1.5
経済的純現在価値 (事業全体)	94億円
経済的内部収益率 (事業全体)	6.6%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	6,400	±10%	1.4~1.6
事業費	230億円	±10%	1.4~1.7
事業期間	8年	±2年	1.4~1.6

交通状況の変化

事業名：国道57号 滝室坂道路

(推計時点：H42年)

		整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 [バイパス等] : 6.3km	交通量 [台/日]	0	6,400	
	走行時間 [分]	0.00	4.7	
	走行時間費用 [億円/年]	0.00	5.8	
②主な周辺道路	現道(国道 57号) : 8.8km	交通量 [台/日]	5,900	200
		走行時間 [分]	15	15
		走行時間費用 [億円/年]	17	0.43
	(県)小池 野永谷線 : 9.2km	交通量 [台/日]	900	900
		走行時間 [分]	24	24
		走行時間費用 [億円/年]	3.9	3.6
	(主)別府 一の宮線 : 22.7km	交通量 [台/日]	3,000	2,900
		走行時間 [分]	35	35
		走行時間費用 [億円/年]	18	18
	一般国道 265号 : 9.0km	交通量 [台/日]	1,700	1,700
		走行時間 [分]	14	14
		走行時間費用 [億円/年]	4.4	4.4
③その他道路合計 : 1513km		走行時間費用 [億円/年]	903	901

		走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1569km	走行時間短縮便益 [億円/年]	946	933	14

注1) 上記は、推計年次 (H42) における災害時の迂回解消に対する年間便益 (365日計算) である。

注2) 異常気象時の通行止め (10日と設定) に対する推計年の便益は上記便益を基に通行止め時による便益を算出し、365日で除して×10日で算定。これを通常便益の355/365日分と合算して設定。

注3) 災害時 (10年に1回と想定) に対する推計年の便益は上記便益を基に365日で除して×40日 (H24被災復旧実績) で算定。これを通常便益の325/365日分と合算して設定。

費用便益分析の条件

事業名：国道57号 滝室坂道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成24年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の採択理由	<input type="checkbox"/> 小規模事業である <input type="checkbox"/> 山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他() 簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量程度の路線などが混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>
	採用理由を記載	
その他()	<input type="checkbox"/>	

事業名：国道57号 滝室坂道路

【図面(①)②に該当する道路】



事業名：国道57号 滝室坂道路

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数	() %
休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載			
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input type="checkbox"/>	
	考慮する	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数	(10、40) 日
		採用した通行止め日数の考え方を記載	
		・過去20年間の対象地区におけるアメダス情報(連続雨量140mm以上:事前通行規制)から年間10日を設定 ・過去20年間の対象地区における災害履歴から10年に1回40日を設定	
とり止め交通を考慮する	<input type="checkbox"/>		
とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数	() 日
		採用した冬期日数の考え方を記載	
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input checked="" type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
その他			

事業名：国道57号 滝室坂道路

(4)

項目		チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>
		標準投資パターンを採用	<input type="checkbox"/>
	維持管理費	その他(概略事業計画による値を採用)	<input checked="" type="checkbox"/>
		維持管理費の設定根拠を記載 当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費(過去3年間:H21~H23)に基づく	
雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
その他	・当該地域では実績から概ね10年に1度被災しており、その確率で今後も被災した場合、通行止め仮復旧のための施設整備費が必要となるが、対象道路が整備されることにより不要となることから、この費用(H24仮橋整備実績[6億円])を維持管理費から控除した。		
4. その他			

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)		割引率	走行時間短縮便益(億円)		走行経費減少便益(億円)		事故減少便益(億円)	便益合計 割引率換算
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値		① 計	② 計	③	①~③		
19年目	H 32	0.7307	93.8											
供用開始年次	H 33	0.7026	93.8											
1年目	H 34	0.6756	93.8											
2年目	H 35	0.6496	93.8											
3年目	H 36	0.6246	93.8											
4年目	H 37	0.6006	93.8											
5年目	H 38	0.5775	93.8											
6年目	H 39	0.5553	93.8											
7年目	H 40	0.5339	93.8											
8年目	H 41	0.5134	93.8											
9年目	H 42	0.4936	93.8											
10年目	H 43	0.4746	93.8											
11年目	H 44	0.4564	93.8											
12年目	H 45	0.4388	93.8											
13年目	H 46	0.4220	93.8											
14年目	H 47	0.4057	93.8											
15年目	H 48	0.3901	93.8											
16年目	H 49	0.3751	93.8											
17年目	H 50	0.3607	93.8											
18年目	H 51	0.3468	93.8											
19年目	H 52	0.3335	93.8											
20年目	H 53	0.3207	93.8											
21年目	H 54	0.3083	93.8											
22年目	H 55	0.2965	93.8											
23年目	H 56	0.2851	93.8											
24年目	H 57	0.2741	93.8											
25年目	H 58	0.2636	93.8											
26年目	H 59	0.2534	93.8											
27年目	H 60	0.2437	93.8											
28年目	H 61	0.2343	93.8											
29年目	H 62	0.2253	93.8											
30年目	H 63	0.2166	93.8											
31年目	H 64	0.2083	93.8											
32年目	H 65	0.2003	93.8											
33年目	H 66	0.1926	93.8											
34年目	H 67	0.1852	93.8											
35年目	H 68	0.1780	93.8											
36年目	H 69	0.1712	93.8											
37年目	H 70	0.1646	93.8											
38年目	H 71	0.1583	93.8											
39年目	H 72	0.1522	93.8											
40年目	H 73	0.1463	93.8											
41年目	H 74	0.1407	93.8											
42年目	H 75	0.1353	93.8											
43年目	H 76	0.1301	93.8											
44年目	H 77	0.1251	93.8											
45年目	H 78	0.1203	93.8											
46年目	H 79	0.1157	93.8											
47年目	H 80	0.1112	93.8											
48年目	H 81	0.1069	93.8											
49年目	H 82	0.1028	93.8											
合計														
単純事業費計				230		24								

費用の現在価値算定表

様式-4

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-8年目	H 25	0.9615	93.8	0.50	0.48		
-7年目	H 26	0.9246	93.8	6.9	6.4		
-6年目	H 27	0.8890	93.8	12	10		
-5年目	H 28	0.8548	93.8	18	16		
-4年目	H 29	0.8219	93.8	30	25		
-3年目	H 30	0.7903	93.8	51	40		
-2年目	H 31	0.7599	93.8	69	52		
-1年目	H 32	0.7307	93.8	43	32		
供用開始年次	H 33	0.7026	93.8			1.1	0.75
1年目	H 34	0.6756	93.8			-4.9	-3.3
2年目	H 35	0.6496	93.8			1.1	0.70
3年目	H 36	0.6246	93.8			1.1	0.67
4年目	H 37	0.6006	93.8			1.1	0.64
5年目	H 38	0.5775	93.8			1.1	0.62
6年目	H 39	0.5553	93.8			1.1	0.60
7年目	H 40	0.5339	93.8			1.1	0.57
8年目	H 41	0.5134	93.8			1.1	0.55
9年目	H 42	0.4936	93.8			1.1	0.53
10年目	H 43	0.4746	93.8			1.1	0.51
11年目	H 44	0.4564	93.8			-4.9	-2.2
12年目	H 45	0.4388	93.8			1.1	0.47
13年目	H 46	0.4220	93.8			1.1	0.45
14年目	H 47	0.4057	93.8			1.1	0.44
15年目	H 48	0.3901	93.8			1.1	0.42
16年目	H 49	0.3751	93.8			1.1	0.40
17年目	H 50	0.3607	93.8			1.1	0.39
18年目	H 51	0.3468	93.8			1.1	0.37
19年目	H 52	0.3335	93.8			1.1	0.36
20年目	H 53	0.3207	93.8			1.1	0.34
21年目	H 54	0.3083	93.8			-4.9	-1.5
22年目	H 55	0.2965	93.8			1.1	0.32
23年目	H 56	0.2851	93.8			1.1	0.31
24年目	H 57	0.2741	93.8			1.1	0.29
25年目	H 58	0.2636	93.8			1.1	0.28
26年目	H 59	0.2534	93.8			1.1	0.27
27年目	H 60	0.2437	93.8			1.1	0.26
28年目	H 61	0.2343	93.8			1.1	0.25
29年目	H 62	0.2253	93.8			1.1	0.24
30年目	H 63	0.2166	93.8			1.1	0.23
31年目	H 64	0.2083	93.8			-4.9	-1.0
32年目	H 65	0.2003	93.8			1.1	0.21
33年目	H 66	0.1926	93.8			1.1	0.21
34年目	H 67	0.1852	93.8			1.1	0.20
35年目	H 68	0.1780	93.8			1.1	0.19
36年目	H 69	0.1712	93.8			1.1	0.18
37年目	H 70	0.1646	93.8			1.1	0.18
38年目	H 71	0.1583	93.8			1.1	0.17
39年目	H 72	0.1522	93.8			1.1	0.16
40年目	H 73	0.1463	93.8			1.1	0.16
41年目	H 74	0.1407	93.8			-4.9	-0.69
42年目	H 75	0.1353	93.8			1.1	0.15
43年目	H 76	0.1301	93.8			1.1	0.14
44年目	H 77	0.1251	93.8			1.1	0.13
45年目	H 78	0.1203	93.8			1.1	0.13
46年目	H 79	0.1157	93.8			1.1	0.12
47年目	H 80	0.1112	93.8			1.1	0.12
48年目	H 81	0.1069	93.8			1.1	0.11
49年目	H 82	0.1028	93.8			1.1	0.11
合計				-4.4	-0.46	24	6.1
単純事業費計				230		24	

注1) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

路線名	箇所名	車線数	延長
国道57号	滝室坂道路	2	6.3km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				19,598	
	改良費				919	
		土工	m	1,525	553	切土(9.8万m ³)、盛土(19.3万m ³)
		軟弱地盤改良工	式			
		法面工	m	1,525	185	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式			
		管渠工	m			
		函渠工	m			
		排水工	m	1,525	181	
		雑工	式			
	橋梁費				811	
		100m以上	m			
		100m未満	m	115	811	3橋(L=45m、L=30m、L=40m)
	トンネル費				17,506	
		NATM	m	4,620	17,506	2車線
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				236	
		車道舗装	m ²	18,300	236	A=12m×1525m
		歩道舗装	m ²			
	付帯施設費				126	
		交通管理施設工	式	1	126	防護柵工、道路照明、標識工、区画線等
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				486	
	用地費		m ²	62,380	444	
		宅地	m ²	41,000	410	
		田畑	m ²	20,000	20	
		山林・原野	m ²	1,380	14	
		その他	m ²			
	補償費	式		1	42	
③	間接経費	式		1	2,916	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費等
	全体事業費				23,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

⑧一般国道41号 名濃バイパス

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道41号	名濃バイパス	L=7.0km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
54,300	6	中部地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	91億円	83億円	174億円
基準年における 現在価値(C)	74億円	25億円	99億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成34年度			
単年便益 (初年便益)	20億円	1.5億円	0.01億円	21億円
基準年における 現在価値(B)	278億円	20億円	0.1億円	299億円

③ 結果

費用便益比(事業全体)	3.0
経済的純現在価値(事業全体)	200億円
経済的內部収益率(事業全体)	12.8%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析(事業全体を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	54,300	±10%	2.7 ~ 3.3
事業費	91億円	±10%	2.8 ~ 3.3
事業期間	9年	±20%	2.9 ~ 3.1

交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道41号 名濃バイパス（事業全体）

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・ 改築道路	国道41号 名濃バイパス	交通量※1 [台/日]	41,100	54,300	
		走行時間※2 [分]	15	14	
	: 7.0km	走行時間費用※3 [億円/年]	115.19	138.87	
②主な周 辺道路※4	市) 犬山公園小牧線	交通量 [台/日]	13,200	9,400	
		走行時間 [分]	19	18	
		: 7.2km	走行時間費用 [億円/年]	43.90	30.15
	主) 一宮犬山線	交通量 [台/日]	13,000	12,700	
		走行時間 [分]	39	37	
		: 13.6km	走行時間費用 [億円/年]	94.04	88.00
	県) 小口名古屋線	交通量 [台/日]	15,200	13,700	
		走行時間 [分]	16	16	
		: 6.4km	走行時間費用 [億円/年]	42.97	38.88
	主) 名古屋江南線	交通量 [台/日]	17,900	17,300	
		走行時間 [分]	20	19	
		: 6.5km	走行時間費用 [億円/年]	62.72	59.33
主) 春日井各務原線	交通量 [台/日]	13,700	13,300		
	走行時間 [分]	19	19		
	: 6.4km	走行時間費用 [億円/年]	47.44	45.59	
③その他の道路合計 1399.6km		走行時間費用 [億円/年]	7,595.96	7,581.70	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 1446.7km	走行時間短縮便益 [億円/年]		8,002.23	7,982.53	19.70

- ※1：当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2：配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3：費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4：当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5：②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

様式-3②

事業名：一般国道41号 名濃バイパス

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	■
	その他	□
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成24年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	■ (H42)
	複数時点での推計	□
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	■
	整備の有無のいずれかのみ推計	□ 有 □ 無
	いずれかのみ推計の場合 いずれかのみ推計とした理由を記載	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	■ (H17センサス)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	□
	その他()	□
開発交通量の考慮	無	■
	有	□
	有の場合のみ 考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載	()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	□
	転換率式を用いた配分	□
	Q-V式と転換率式の併用による配分	■
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	□
	簡易手法	□
	簡易手法の採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	■
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	□
	採用理由を記載	
その他()	□	

様式3②

事業名：一般国道41号 名濃バイパス

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	■	
	考慮する	□	
	考慮する場合のみ	面的に考慮 対象路線のみ考慮	□
		採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
災害等による通行止めの影響	考慮しない	■	
	考慮する	□	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載 とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	() 日
冬期交通の影響	考慮しない	■	
	考慮する	□	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載 冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	() 日
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	■	
	その他()	□	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	■	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	□	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	■	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	□	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	□	
	中央分離帯の有無を考慮しない	■	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	■	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	□	
その他			

様式3②

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道41号	名濃バイパス	6	7.0km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考				
①工事費	改良費				7,711					
					2,902					
					土工	m3	38,000	11	切土(16,900m3)、盛土(4,200m3)、捨土(16,900m3)	
					軟弱地盤改良工	m3	91,000	155	路床安定処理(改良厚1m)	
					法面工	m2	1,270	1	切土法面、盛土法面	
					擁壁工	式	1	731	補強土壁等(L=1~2m)	
					管渠工	m				
					函渠工	箇所	4	134	B=4.0~8.0m、H=2.4m	
					排水工	m	14,937	510		
					中央分離帯工	m	7,000	153		
					雑工	式	1	1,207	機壁撤去工(3,000m3)、仮設土留め工(L=2,200m)、切り直し道路工(3~5回)	
					橋梁費			658		
		100m以上	m							
		100m未満	m	382	12橋(既設部補強含む)					
	トンネル費									
								NATM	m	
		シールド	m							
	IC・JCT費									
								IC	箇所	
		JCT	箇所							
	舗装費					2,308				
車道舗装								m ²	147,000	2,166
	歩道舗装	m ²	28,631	142						
付帯施設費					1,843					
							交通管理施設工	式	1	1,843
	遮音壁	m								
②用地及補償費	用地費				437					
							宅地	m ²	770	69
							田畑	m ²	1,491	134
							山林・原野	m ²		
							その他	m ²		
							補償費	式	1	233
③間接経費				1	1,352	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費				
全体事業費					9,500					

【単価等について】

- 工事費算出にあたっては、土木工事標準歩掛及び近接事業箇所の実績単価を使用
- 用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所直近実績単価を使用

償金の現在価値算定表

箇所名：一般国道41号 名濃バイパス (事業名称)

様式-5

年度 (年度末)	総走行台数の年次別伸び率		営業車 (A)	GDP トンナリ	走行時間短縮便益(億円)		現在価値 ①×(A)×(B)		走行経費減少便益(億円)		現在価値 ②×(A)×(C)		事故減少便益(億円)		現在価値 ③×(A)×(D)		合計(億円)				
	乗用車類 (乗用車/カ)	普通貨物車 (普通貨物)			乗用車	小型貨物 普通貨物	① 計	乗用車	小型貨物 普通貨物	② 計	③	④×(A)	⑤×(A)	⑥×(A)	⑦×(A)	⑧×(A)	⑨×(A)	⑩×(A)			
1年度	H 54	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.67	19.77	13.30	1.32	0.12	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.24	14.52
2年度	H 55	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
3年度	H 56	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
4年度	H 57	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
5年度	H 58	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
6年度	H 59	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
7年度	H 60	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
8年度	H 61	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
9年度	H 62	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
10年度	H 63	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
11年度	H 64	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
12年度	H 65	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
13年度	H 66	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
14年度	H 67	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
15年度	H 68	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
16年度	H 69	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
17年度	H 70	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
18年度	H 71	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
19年度	H 72	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
20年度	H 73	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
21年度	H 74	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
22年度	H 75	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
23年度	H 76	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
24年度	H 77	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
25年度	H 78	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
26年度	H 79	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
27年度	H 80	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
28年度	H 81	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
29年度	H 82	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
30年度	H 83	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
31年度	H 84	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
32年度	H 85	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
33年度	H 86	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
34年度	H 87	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
35年度	H 88	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
36年度	H 89	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
37年度	H 90	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
38年度	H 91	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
39年度	H 92	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
40年度	H 93	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
41年度	H 94	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
42年度	H 95	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
43年度	H 96	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.6756	63.8	14.92	2.19	2.68	19.78	13.30	1.32	0.11	0.03	1.46	0.95	0.01	0.01	21.25	14.52
44年度	H 97	1,000.00	0.99174	1,000.00	0.9916	0.67															

⑨一般国道24号 寺田拡幅

(再評価)

様式-2

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・B.P. その他の別
一般国道24号	寺田拡幅	L=2.1km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
20,000	4車線	近畿地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	133億円	27億円	160億円
基準年における 現在価値(C)	99億円	7.6億円	107億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成36年度			
単年便益 (初年便益)	10億円	0.6億円	0.4億円	11億円
基準年における 現在価値(B)	130億円	8.1億円	5.5億円	144億円

注)「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結果

費用便益比(事業全体)	1.4
経済的純現在価値(事業全体)	38億円
経済的内部収益率(事業全体)	5.6%

注)費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	20,000台/日	±10%	1.13~1.62
事業費	133億円	±10%	1.24~1.49
事業期間	11年	±20%	1.28~1.46

交通状況の変化
事業名：寺田拡幅

様式-3①

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)		
①新設・改築道路 (2.1km)	交通量※1	[台/日]	17,200	20,000		
	走行時間※2	[分]	6	3		
	走行時間費用※3	[億円/年]	18.43	10.19		
②主な周 辺道路※4	内里城陽線 (1.5km)	交通量	[台/日]	9,000	7,900	
		走行時間	[分]	5	5	
		走行時間費用	[億円/年]	7.23	6.03	
	宇治淀線 (1.7km)	交通量	[台/日]	11,900	11,600	
		走行時間	[分]	5	5	
		走行時間費用	[億円/年]	11.21	10.87	
	③その他道路合計 (3.613.6km)	走行時間費用	[台/日]	0	0	
			[分]	0	0	
			[億円/年]	0.00	0.00	
		走行時間費用	[台/日]	0	0	
			[分]	0	0	
			[億円/年]	0.00	0.00	
③その他道路合計 (3.613.6km)			走行時間費用	[億円/年]	11,397.56	11,396.91

		走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A-B)	
合計：3,618.9km	走行時間短縮便益	[億円/年]	11,434.42	11,424.00	10.43

※1：当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2：配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3：費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4：当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5：②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名: 寺田拡幅

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成24年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計 いずれかのみ推計の場合	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 いずれかのみ推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサスベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
	山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	その他(BPR関数と転換率式の併用による配分)	<input checked="" type="checkbox"/>
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	最終配分の速度 採用理由を記載 分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の適用に併せて、 最終速度を採用。	<input checked="" type="checkbox"/>
その他()		<input type="checkbox"/>

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名: 一般国道24号 寺田拡幅

維持管理費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-11年目	H 25	0.9615	93.8	0.48	0.46		
-10年目	H 26	0.9246	93.8	2.86	2.64		
-9年目	H 27	0.8890	93.8	3.81	3.39		
-8年目	H 28	0.8548	93.8	3.81	3.26		
-7年目	H 29	0.8219	93.8	6.67	5.48		
-6年目	H 30	0.7903	93.8	19.05	15.05		
-5年目	H 31	0.7599	93.8	26.67	20.26		
-4年目	H 32	0.7307	93.8	33.33	24.36		
-3年目	H 33	0.7026	93.8	31.43	22.08		
-2年目	H 34	0.6756	93.8	4.29	2.90		
-1年目	H 35	0.6496	93.8	0.95	0.62		
供用開始年次	H 36	0.6246	93.8			0.54	0.34
1年目	H 37	0.6006	93.8			0.54	0.32
2年目	H 38	0.5775	93.8			0.54	0.31
3年目	H 39	0.5553	93.8			0.54	0.30
4年目	H 40	0.5339	93.8			0.54	0.29
5年目	H 41	0.5134	93.8			0.54	0.28
6年目	H 42	0.4936	93.8			0.54	0.27
7年目	H 43	0.4746	93.8			0.54	0.26
8年目	H 44	0.4564	93.8			0.54	0.25
9年目	H 45	0.4388	93.8			0.54	0.24
10年目	H 46	0.4220	93.8			0.54	0.23
11年目	H 47	0.4057	93.8			0.54	0.22
12年目	H 48	0.3901	93.8			0.54	0.21
13年目	H 49	0.3751	93.8			0.54	0.20
14年目	H 50	0.3607	93.8			0.54	0.19
15年目	H 51	0.3468	93.8			0.54	0.19
16年目	H 52	0.3335	93.8			0.54	0.18
17年目	H 53	0.3207	93.8			0.54	0.17
18年目	H 54	0.3083	93.8			0.54	0.17
19年目	H 55	0.2965	93.8			0.54	0.16
20年目	H 56	0.2851	93.8			0.54	0.15
21年目	H 57	0.2741	93.8			0.54	0.15
22年目	H 58	0.2636	93.8			0.54	0.14
23年目	H 59	0.2534	93.8			0.54	0.14
24年目	H 60	0.2437	93.8			0.54	0.13
25年目	H 61	0.2343	93.8			0.54	0.13
26年目	H 62	0.2253	93.8			0.54	0.12
27年目	H 63	0.2166	93.8			0.54	0.12
28年目	H 64	0.2083	93.8			0.54	0.11
29年目	H 65	0.2003	93.8			0.54	0.11
30年目	H 66	0.1926	93.8			0.54	0.10
31年目	H 67	0.1852	93.8			0.54	0.10
32年目	H 68	0.1780	93.8			0.54	0.10
33年目	H 69	0.1712	93.8			0.54	0.09
34年目	H 70	0.1646	93.8			0.54	0.09
35年目	H 71	0.1583	93.8			0.54	0.09
36年目	H 72	0.1522	93.8			0.54	0.08
37年目	H 73	0.1463	93.8			0.54	0.08
38年目	H 74	0.1407	93.8			0.54	0.08
39年目	H 75	0.1353	93.8			0.54	0.07
40年目	H 76	0.1301	93.8			0.54	0.07
41年目	H 77	0.1251	93.8			0.54	0.07
42年目	H 78	0.1203	93.8			0.54	0.06
43年目	H 79	0.1157	93.8			0.54	0.06
44年目	H 80	0.1112	93.8			0.54	0.06
45年目	H 81	0.1069	93.8			0.54	0.06
46年目	H 82	0.1028	93.8			0.54	0.06
47年目	H 83	0.0989	93.8			0.54	0.05
48年目	H 84	0.0951	93.8			0.54	0.05
49年目	H 85	0.0914	93.8	-16.48	-1.51	0.54	0.05
合計				116.85	98.99	27.00	7.55

単純事業費計 133.33 27.00

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

年次	年度	割引率	GDP デフレータ	事業費(億円)		維持管理費(億円)		合計
				単価単価	現在価値	単価単価	現在価値	
1年目	H 37	0.6006	93.8			0.54	0.32	0.86
2年目	H 38	0.5775	93.8			0.54	0.31	0.85
3年目	H 39	0.5553	93.8			0.54	0.30	0.84
4年目	H 40	0.5339	93.8			0.54	0.29	0.83
5年目	H 41	0.5134	93.8			0.54	0.28	0.82
6年目	H 42	0.4936	93.8			0.54	0.27	0.81
7年目	H 43	0.4746	93.8			0.54	0.26	0.80
8年目	H 44	0.4564	93.8			0.54	0.25	0.79
9年目	H 45	0.4388	93.8			0.54	0.24	0.78
10年目	H 46	0.4220	93.8			0.54	0.23	0.77
11年目	H 47	0.4057	93.8			0.54	0.22	0.76
12年目	H 48	0.3901	93.8			0.54	0.21	0.75
13年目	H 49	0.3751	93.8			0.54	0.20	0.74
14年目	H 50	0.3607	93.8			0.54	0.19	0.73
15年目	H 51	0.3468	93.8			0.54	0.19	0.72
16年目	H 52	0.3335	93.8			0.54	0.18	0.71
17年目	H 53	0.3207	93.8			0.54	0.17	0.70
18年目	H 54	0.3083	93.8			0.54	0.17	0.69
19年目	H 55	0.2965	93.8			0.54	0.16	0.68
20年目	H 56	0.2851	93.8			0.54	0.15	0.67
21年目	H 57	0.2741	93.8			0.54	0.15	0.66
22年目	H 58	0.2636	93.8			0.54	0.14	0.65
23年目	H 59	0.2534	93.8			0.54	0.14	0.64
24年目	H 60	0.2437	93.8			0.54	0.13	0.63
25年目	H 61	0.2343	93.8			0.54	0.13	0.62
26年目	H 62	0.2253	93.8			0.54	0.12	0.61
27年目	H 63	0.2166	93.8			0.54	0.12	0.60
28年目	H 64	0.2083	93.8			0.54	0.11	0.59
29年目	H 65	0.2003	93.8			0.54	0.11	0.58
30年目	H 66	0.1926	93.8			0.54	0.10	0.57
31年目	H 67	0.1852	93.8			0.54	0.10	0.56
32年目	H 68	0.1780	93.8			0.54	0.10	0.55
33年目	H 69	0.1712	93.8			0.54	0.09	0.54
34年目	H 70	0.1646	93.8			0.54	0.09	0.53
35年目	H 71	0.1583	93.8			0.54	0.09	0.52
36年目	H 72	0.1522	93.8			0.54	0.08	0.51
37年目	H 73	0.1463	93.8			0.54	0.08	0.50
38年目	H 74	0.1407	93.8			0.54	0.08	0.49
39年目	H 75	0.1353	93.8			0.54	0.07	0.48
40年目	H 76	0.1301	93.8			0.54	0.07	0.47
41年目	H 77	0.1251	93.8			0.54	0.07	0.46
42年目	H 78	0.1203	93.8			0.54	0.06	0.45
43年目	H 79	0.1157	93.8			0.54	0.06	0.44
44年目	H 80	0.1112	93.8			0.54	0.06	0.43
45年目	H 81	0.1069	93.8			0.54	0.06	0.42
46年目	H 82	0.1028	93.8			0.54	0.06	0.41
47年目	H 83	0.0989	93.8			0.54	0.05	0.40
48年目	H 84	0.0951	93.8			0.54	0.05	0.39
49年目	H 85	0.0914	93.8	-16.48	-1.51	0.54	0.05	0.38
合計				116.85	98.99	27.00	7.55	147.07

様式-5

路線名	箇所名	車線数	延長
国道24号	寺田拡幅	4	2.1km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (千円)	備考
①	工事費				3,675,916	
	改良費				2,523,545	
		土工	m ³	62,048	72,826	
		軟弱地盤改良工	m ³	193,800	1,637,610	
		法面工	m ²	4,559	19,344	
		雪崩予防柵	m			
		擁壁工	式	1	511,981	
		管渠工	式	1	8,080	
		函渠工	式	1	115,043	
		排水工	式	1	158,661	
		中央分離帯工	式			
		跨道橋工	式	1		
	橋梁費			1	676,619	
		100m以上	式	1	676,619	
		100m未満	式			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費			1	415,890	
		車道舗装	m ²	32,217	350,457	
		歩道舗装	m ²	17,120	65,433	
	付帯施設費			1	59,862	
		交通管理施設工	式	1	59,862	
		遮音壁	m			
②	用地及補償費				7,568,359	
	用地費		m ²	31,488	1,648,359	
		山林・原野	m ²			
		田	m ²	19,560	606,360	
		畑	m ²	1,155	35,805	
		果樹園	m ²	4,030	124,930	
		荒地	m ²	1,094	33,914	
		宅地	m ²	5,649	847,350	
	補償費		式		5,920,000	
③	間接経費		式	1	1,866,000	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
③	調査設計費		式	1	562,000	
④	間接費		式	1	112,000	
⑤	予備費		式	1	1,192,000	
⑥	文化財調査		式	1	889,590	
	全体事業費				14,000,000	

⑩一般国道42号 湯浅御坊道路
4車線化

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拓・B.P.・その他の別
一般国道42号	湯浅御坊道路	L=19.4km	一般国道	現拓

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
12,500	4	西日本高速道路㈱ を想定

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成24年度		
単純合計	429億円	66億円	495億円
基準年における 現在価値(C)	328億円	18億円	346億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成24年度			
供用年	平成35年度			
単年便益 (初年便益)	31億円	1億円	1億円	33億円
基準年における 現在価値(B)	363億円	11億円	9億円	383億円

③ 結果

費用便益比(B/C)	1.1
経済的純現在価値(B-C)	36億円
経済的内部収益率(EIRR)	4.5%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	12,500台/日	±10%	1.0~1.3
事業費	328億円	±10%	1.0~1.3
事業期間	12年	±20%	1.0~1.3

交通状況の変化

事業名：一般国道42号 湯浅御坊道路

(推計時点 H42年)

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築： 19.4km	交通量 ^{※1}	[台/日]	11,600	12,500	
	走行時間 ^{※2}	[分]	19	13	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	45	32	
②主な周 辺道路 ^{※4}	国道42 号： 24.8km	交通量	[台/日]	7,400	7,100
		走行時間	[分]	52	50
		走行時間費用	[億円/年]	79	75
	国道424 号： 55.6km	交通量	[台/日]	1,400	1,300
		走行時間	[分]	115	115
		走行時間費用	[億円/年]	31	28
	県道広川 川辺線： 12.0km	交通量	[台/日]	2,500	1,800
		走行時間	[分]	28	28
		走行時間費用	[億円/年]	14	10
	県道御坊 美山線： 12.4km	交通量	[台/日]	4,100	4,000
		走行時間	[分]	16	16
		走行時間費用	[億円/年]	13	12
③その他道路合計： 23157.5km	交通量	[台/日]			
	走行時間	[分]			
	走行時間費用	[億円/年]	87,135	87,131	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A-B)
合計：23281.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	87,316	87,289	27

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

事業名：一般国道42号 湯浅御坊道路



費用便益分析の条件

事業名：一般国道42号 湯浅御坊道路

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成24年度
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 <input checked="" type="checkbox"/> (2030) 複数時点での推計 <input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計 <input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法) <input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法) <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/>
		有の場合のみ <input type="checkbox"/> 考慮した開発交通量(トリップ数) () 台トリップ/日 考慮した理由を記載
	配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分 <input type="checkbox"/>
		転換率式を用いた配分 <input type="checkbox"/>
		Q-V式と転換率式の併用による配分 <input checked="" type="checkbox"/>
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分) <input type="checkbox"/>		
簡易手法 <input type="checkbox"/>		
簡易手法の採択理由	小規模事業である <input type="checkbox"/>	
	山間部海岸部で併行道路が少ない <input type="checkbox"/> その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)		
速度設定の考え方	その他() <input type="checkbox"/>	
	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 <input type="checkbox"/>	
	最終配分の速度 <input type="checkbox"/> 採用理由を記載	
高規格道路の速度は道路種別・車線当たり交通量から設定。また一般道の速度は、沿道条件・交差点密度等の道路条件を考慮し設定。 その他() <input checked="" type="checkbox"/>		

(事業全体)

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道42号	湯浅御坊道路	4	19.4 km

■事業費内訳

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				58,557	
	改良費				15,105	
	土工		千m ³	252.5		
	基礎安定工		千m ²	0.0		
	のり面工		千m ²	75.7		
	擁壁工		千m ²	22.1		
	溝渠工		箇所	36.0		
	排水工		km	11.9		
	中央分離帯工		km	3.4		
	雑工		式	1		
	橋梁費		m ²	41,687	17,030	
	トンネル費		m	6,553	19,488	
	IC・JCT費				4,593	
	インターチェンジ		箇所	6		
	ジャンクション		箇所			
	休憩施設		箇所	1		
	バスストップ		箇所			
	側道		km			
	舗装費		m ²	72,800	536	
	付帯施設費				1,806	
	交通安全管理施設工		式	1		
	施設設備工		式	1		
②	用地及補償費				3,618	
	用地費		式	1		
	補償費		式	1		
③	間接経費		式	1	9,150	
	事業費合計				71,326	